

## ◇若穂スマートインターチェンジ建設期成同盟会 総会開催◇

2月7日(金)に若穂スマートインターチェンジ建設期成同盟会総会が、理事会に引き続き若穂支所 2Fで開催されました。務台衆議院議員をはじめとする国会議員、県議員、地元選出の加藤市議、国(長野国道事務所長)、県(長野建設事務所長)、市(建設部長)、NEXCO 東日本(長野管理事務所長)等行政機関のトップを来賓としてお迎えし、盛大に開催することができました。冒頭、平成30年度事業報告、決算報告、令和元年度事業計画及び予算の審議を行い、満場一致で可決した後、長野市建設部道路課より現



務台衆議院議員の祝辞

況について説明を受けました。その後、国会議員を代表して務台さん、県議員を代表して西沢さん、各行政機関のトップより、ご祝辞をいただき、最後に岡田会長より来賓各位に要望書を手渡しして無事終了しました。昨年の台風被害からの復旧復興工事で財政的に厳しい状況ではあるものの、早期の事業化実現に向けて、意識を合わせた集会となりました。



要望書の提出

## ◇コミュニティースクール運営委員会開催◇

2/7(金)夜、コミュニティースクール運営委員会が、若穂支所 2Fで開催され小・中学校(4校)と保育園・認定こども園等から取り組み状況の発表がありました。佐藤地域連携推進ディレクターから、「若穂地区は地域みんなで育てようとする取り組みがあり、多様な教育環境を子供に提供している。若中の今の成果は小学校時に育まれているように考えられ、今後もっと進展する！」等のコメントをいただきました。

## ◇リーダー講習会◇

子育て青少年部会の青少年育成員会では、各単位育成会の協力のもと2月15日(土)に若穂体育館でリーダー講習会を開催しました。この講習会は、新年度になると最上級生として、学校生活や地区の行事などで下級生をまとめていくことが多くなる5年生児童を対象に開催し、今回は、綿内、川田、保科の各小学校から94名の児童が参加しました。講習会では、まず、長野シニアリーダーズクラブから高校生4名を迎え、体育館全体を使った集団ゲームで学校は異なるものの、手をつないだり、言葉を交わして、児童全員が打ち解けた楽しい雰囲気でも過ごすことができました。

次に、長野市少年育成センターからスマートフォンの使い方、特にSNSに関する話をさせていただきました。



便利なスマートフォンですが、使い方によっては生活のリズムを乱したり、いじめに発展することにもなると話があり、使い方のルールを決めることが大切と話していただきました。

そして、交通安全教室では、長野中央警察署交通課と若穂地区の駐在官から、自転車に乗るとき

はヘルメットを着用すること、また、DVDを見ながら、自動車の死角を例に道路を歩行するとき気を付けること、いのちを大切にすることなどを話していただきました。今回の講習会を仲間づくりに生かすとともに、下級生を含め他者への思いやりの気持ちをもって学校や家庭、地域での生活を送ってほしいと思います。

(子育て青少年部会 副部会長 牧野健一)

### <目指す若穂の子供像>

子育て青少年部会の目的より

「次世代を担うこどもたちが、**郷土愛を持ち、健全で思いやりのある若穂人**に育つため、**家庭・地域・関係団体・学校が三位一体**となって**青少年の健全育成と子育て支援**を行う」

○若穂を愛し

○健全で

○思いやりのある 若穂人

## ◇とびっくラン「全国ご当地マラソン 2020」に出店◇

1月15日～19日の5日間、東京ドームで開催された「全国ご当地マラソン 2020」に出店し、エントリーランナー(参加者)の募集と長野県、長野市と協力し、観光PR・特産品のPRを行いました。

5日間でブースへの来場者は延べ5,000人(1日平均1,000人)、祭り会場は40万人(10日間)で、500部用意した観光チラシや北野美術館、ジビエのパフレットもすぐなくなり追加したほど盛況でした。

また、ブースに物品(七味唐辛子、おからパウダー、松代温泉入浴剤、半生ソバ、野沢菜、リンゴ等)を置いたため、集客効果絶大、長野県出身者の来場も多く、全体的に反応が良く、長野県・長野市・若穂のPRになりました。



ブースでの接客



展示ブース



ステージでのPR

## ◇新任の地域おこし協力隊員◇

はじめまして。今年の1月より長野市若穂地区の地域おこし協力隊員として着任しました武内智之(23歳)です。東京都杉並区出身で、若穂の協力隊になる前は映像制作などをおこなっていました。私のミッションは、映像での若穂のPR、有害鳥獣対策支援、若穂ジビエPRなどを中心に活動していきます。着任して一ヶ月半程過ぎましたが、まだまだ分からないことも多く、日常生活でさえ驚くことが多々あるような新鮮な毎日を送っています。このような生活の中にある小さな『驚き』、『発見』というものが地域を興すヒントとして大切なものだと思います。若穂地区の協力隊として、地域の外から来た私だから気付ける若穂の魅力を発信し、地域に貢献出来るように頑張ります。これからどうぞよろしくお願いします。



## 令和元年度人権同和教育標語品を紹介します ( ② ) 【川田小学校】

わるぐちいわないで わたしもきいているんだから	1年	くらしま 倉島 なつ さん
けんかしてもともだちだよ なかなかおりしてもっと		
いっぱいともだちつくるう	2年	こやま 小山 ふうか さん
わる口を 言っているひとにはブーメラン	3年	ひゅうが さきや 日向 魁也 さん
やさしい言葉 かけてあげようみんなにね	4年	さかもと あかり 阪本 朱莉 さん
考えて! 差別するってどんなこと	5年	とば あゆむ 鳥羽 歩夢 さん
こころのかべ バリアフリーはあいさつで	6年	さかぐち さら 坂口 彩良 さん

## 通学定期券購入費補助金申請の受付!

- 受付期間 : 4月1日(水)～4月28日(火) / (土)(日) 祝日を除く  
午前9時30分～午後5時
- 補助対象 : R1年10月1日～R2年3月31日の購入分
- 補助率 : 30%
- 受付場所 : 若穂地区住民自治協議会事務局
- 必要書類等 : 購入費補助金申請書(事務局にあり、ホームページからダウンロード可能です)  
定期券発行証明書、印鑑
- \*不明な点は、住民自治協議会事務局へお問い合わせください。 ☎ 050-3583-5700